



JRW
PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the Application of:

EISHI TAKEDA ET AL.

Application No.: 10/657,222

Filed: September 9, 2003

For: MOVING PICTURE EXPERTS
GROUP PHASE 2 TRANSPORT
STREAM DATA EDITING
METHOD

: Examiner: Not Yet Assigned

: Group Art Unit: 2176

: August 3, 2005

Commissioner for Patents

P.O. Box 1450

Alexandria, VA 22313-1450

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Sir:

In support of Applicants' claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed are certified copies of the following foreign applications:

JP2002-270131, filed September 17, 2002; and
JP2003-106578, filed April 10, 2003.

Applicants' undersigned attorney may be reached in our New York office by telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,

John A. Krause
Attorney for Applicants
Registration No.: 24,613

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3800
Facsimile: (212) 218-2200

CF0 17550
US/k

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日 2003年 4月10日
Date of Application:

出願番号 特願2003-106578
Application Number:

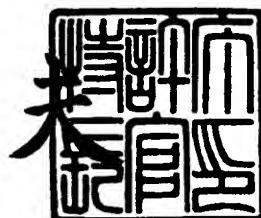
[ST. 10/C] : [JP 2003-106578]

願人 キヤノン株式会社
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2003年10月 7日

今井康



特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

出証番号 出証特 2003-3082527

【書類名】 特許願
【整理番号】 252008
【提出日】 平成15年 4月10日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 G11B 27/02
G06F 7/22
【発明の名称】 情報編集方法及び装置
【請求項の数】 1
【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
【氏名】 西沢 秀太
【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
【氏名】 竹田 英史
【特許出願人】
【識別番号】 000001007
【氏名又は名称】 キヤノン株式会社
【代表者】 御手洗 富士夫
【代理人】
【識別番号】 100065385
【弁理士】
【氏名又は名称】 山下 穂平
【電話番号】 03-3431-1831

【選任した代理人】

【識別番号】 100122921

【弁理士】

【氏名又は名称】 志村 博

【電話番号】 03-3431-1831

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 010700

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0213163

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報編集方法及び装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報記録媒体上のMPEG-2トランスポートストリームデータをデータファイルの開始位置を示す情報及びデータサイズ情報を含むファイルシステム情報によって管理する方法において、前記記録媒体上の第1のデータファイルの後に第2のデータファイルを結合して新たに第3のデータファイルを作成する場合には、前記第1のデータファイルの実効的なAVデータパケット終端より前方の、セクタ境界とトランスポートストリームパケット境界を共に満たす共通境界位置を算出し、前記第3のデータファイルを管理するファイルシステム情報のデータサイズ情報を、前記第1のデータファイルの開始位置から前記共通境界位置まで、及び第2のデータファイルの開始位置から終端位置までとすることを特徴とする情報編集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報記録媒体上のディジタル動画音声圧縮技術規格 (Moving Picture Experts Group: 以下MPEG) を用いたMPEG2トランスポートストリームデータを編集する情報編集方法及び装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

現在、日本国内及び欧米における衛星ディジタル放送や地上波ディジタル放送等において映像及び音声信号を伝送するデータ方式として、IEC/ISO13818において規定されるMPEG2トランスポートストリーム (以下: MPEG-2 TSと呼称) が適用されている。

【0003】

MPEG-2 TSは放送されるプログラムの映像や音声それぞれに対応する情報データを持つ188バイト固定長のMPEG-2 TSパケットと呼ばれる単位で時分割多重化される。

【0004】

このように放送プログラムに対応するMPEG-2 TSを、受信側において送信側と同じ情報圧縮されたディジタル信号の状態のままで、例えば、ハードディスクや光ディスク等のランダムアクセス可能なディスク状記録媒体に書き込み記録やデータファイルとして保存することができれば、画質や音質をまったく劣化させることなく、高品質のAVプログラムを随時繰り返して視聴することや、即応性が高いランダムアクセス再生及び自由度の高いプログラム編集が可能となり得る。

【0005】

図6 (a) は上述した技術を用いた場合の従来例として、ディスク記録媒体に記録されたMPEG-2 TSのデータ構造、図6 (b) はディスク上のデータファイルを管理するファイルシステム情報の例を示す。図中100はハードディスクや光ディスク等のディスク記録媒体、A、B1、B2、C1、C2はそれぞれデータファイルを示す。

【0006】

MPEG-2 TSデータをディスク記録媒体100上に記録書き込みを行う場合には、図6 (a) に示すようにセクタと呼ばれる論理ブロック毎に連続的、或いは連続した未記録セクタ領域が足りない時には離散的にディスク記録媒体100上に記録される。なお、ここでは1セクタのサイズは、例えば、2048バイトとする。

【0007】

ここで、従来、ハードディスクや光ディスク等のランダムアクセス可能なディスク記録媒体上に存在するデータファイルを管理する方式として、File Allocation Table (以下：FATという) やUniversal Disk Format (以下：UDFという) 等のファイルシステムがあるが、これらのファイルシステムの仕様としては

(1) 記録書き込みを開始するデータの位置は必ずセクタの先頭から開始しなければならない。

(2) データファイルの終端が存在するセクタ以外でセクタの途中でデータが途

切れてはならない。

(3) 異なるデータファイルが重複するセクタ領域を有してはいけない。

という規定がなされている。そのため、MPEG-2 TSの記録書き込みや編集処理についてもこの仕様に準拠しなければならない。

【0008】

このようにディスク記録媒体上に記録されたMPEG-2 TSデータをデータファイルとして管理し、後の編集処理を簡易に行うためユーザインターフェースを構築する方法として、図6 (b) に示すように対象となるMPEG-2 TSデータファイル名（ユーザによる任意定義可能）、データファイルが実際にディスクのどこから記録されているかを示す開始セクタ番号、このセクタから開始するデータサイズ等、ファイル名とディスク記録媒体上の位置情報を関連付けるためのテーブルが設けられている。

【0009】

この方法によって、ユーザはディスクのどの位置にどのデータが存在するかを意識せずに、ファイル名を指定するだけで、所望のデータにアクセスすることが可能となる。

【0010】

次に、図6に示すようにMPEG-2 TSデータが記録され、このデータに関連付けられたファイルシステム情報を持つディスク記録再生装置のデータ結合処理例について説明する。図7はデータの結合処理手順を示すフローチャート、図8～図13はディスク記録媒体上に記録されたトランスポートデータと結合処理によるディスク上のデータ構造の変遷を示す。なお、図7のステップ番号と図8～13のステップ番号は対応している。

【0011】

まず、図8に示すようにディスク記録媒体上に二つのMPEG-2 TSファイルFILE0001（アクセス開始セクタN、データサイズ $188 \times n1$ ）とFILE0002（アクセス開始セクタK、データサイズ $188 \times n2$ ）があり、これらのデータファイルを結合する処理要求が発生したものとする（図7のS701）。なお、図8には結合前のファイルシステム情報（ファイル名、開始セクタ番号、データ

サイズ) を併せて示す。

【0012】

以下、この2つのデータファイルを結合して新たにデータファイルFILE0003を作成する場合の編集処理について説明する。この処理は、例えば、ディスク記録再生装置内のアプリケーションがホストコンピュータ等からの要求に応じて行うものとする。但し、以下に説明する#N、#N e n d、n1、n2はすべて0以上の整数である。

【0013】

この処理要求が発生すると、アプリケーションは図9 (a) に示すようにディスク記録媒体上のデータファイルFILE0001のデータ終端、セクタ#Nから $188 \times n1$ バイト目の次に連続するセクタまでのオフセット値Lを次式(1)より算出する(S702)。

【0014】

$$L = 2048 - ((188 \times n1) \bmod 2048) \quad \dots (1)$$

また、図9 (b) に示すようにFILE0001のデータ終端が存在するセクタ番号#N e n dを次式(2)より算出する(S703)。

【0015】

$$\#N e n d = \#N + (188 \times n1) \bmod 2048 \quad \dots (2)$$

次に、図10に示すように式(2)より求めたセクタ#N e n dのセクタデータ $2048 - L$ バイトを、ランダムアクセスメモリ等のバッファ(図示せず)に読み込み、読み込んだセクタデータ終端位置から、Lバイト分のダミーTSパケットデータの付加処理を行う(S704)。

【0016】

次いで、図11 (a) に示すようにセクタ#N e n dにダミーTSパケット情報を付加したセクタデータ $2048 - L$ バイトを上書き記録し(S705)、図11 (b) に示すようにファイルシステム上で結合後に生成するFILE0003の情報についてアクセス開始セクタ#N、アクセスサイズ $188 \times n1 + L$ と更新する(S706)。ファイルFILE0003の情報はメモリ上で更新しても、ディスク上に書き込んでもどちらでもよい。

【0017】

続いて、図11(c)に示すようにS704でLバイト分のダミーTSパケットデータを付加した際に188バイトのTSパケット単位から溢れてしまうデータサイズMを次式(3)より算出する(S707)。即ち、1セクタは2048バイト、ダミーTSパケットデータは188バイト単位であるから、図11(a)に示すようにセクタ終端における188バイトのダミーTSパケットデータの余剰分Mを算出する。

【0018】

$$M = 188 - (L \bmod 188) \quad \cdots (3)$$

また、図12(a)に示すようにこのMを元に次式(4)を用いてセクタ境界とTSパケット境界のアライメント調整のために追加必要なダミーTSパケット数nNULLを算出する(S708)。

【0019】

$$(M + 188 \times n_{NULL}) \bmod 2048 = 0 \text{ となる } n_{NULL} \quad \cdots (4)$$

次に、図12(b)に示すようにディスク記録媒体上の未記録セクタ領域(開始セクタ番号#X)を検索後、式(3)で算出したTSパケット境界から溢れてしまったダミーデータ分Mと、式(4)で算出したnNULL分のダミーTSパケットの記録書き込みを行う(S709)。

【0020】

また、図12(c)に示すようにファイルシステム上のFILE0003についてアクセス開始セクタ#X、データサイズ $188 \times n_{NULL} + M$ バイトの情報を追加更新する(S710)。

【0021】

最後に、図13に示すように結合元となるFILE0002のファイルシステム情報、アクセス開始セクタ#K、アクセスデータサイズ $188 \times n_2$ バイトをFILE0003のファイルシステム情報に登録し、結合処理を終了する(S711)。上記処理によりFILE0003はセクタ#Nから $188 \times n_1 + L$ バイトのデータ、セクタ#X、データサイズ $188 \times n_{NULL} + M$ バイトのデータ、セクタ#Kから $188 \times n_2$ バイトのデータを合わせたものとして認識される。

【0022】**【発明が解決しようとする課題】**

このようにディスク上に記録されたMPEG2データファイルをユーザが結合編集処理を行う場合には、MPEG-2 TSデータ単位となる188バイトのTSパケット境界と、編集処理を行ったデータをファイルとしてファイルシステム上で認識するためのセクタ境界を共に満たすデータ構造でアライメント調整を行わなければならない。

【0023】

そのため、編集処理に伴うディスクへのアクセスが生じ、ディスクに記録されているデータの位置やサイズ等のファイルシステム情報を大きく更新する必要があり、編集処理の完了までに時間がかかるてしまう。

【0024】

また、このような編集処理によって新規に作成されたMPEG-2 TSデータファイルを再生する際ににおいても、共通境界位置を満たすために記録されたNULLパケットデータセクタ領域と実際の映像及び音声信号をもつTSパケットが記録されているセクタ位置がディスク上で物理的に大きく離れてしまい、所望の再生アクセス位置までのヘッドシーク回数が多くなり、シーク距離が長くなつてシームレス再生ができない可能性があった。

【0025】

本発明は、上記従来の問題点に鑑みなされたもので、その目的は、編集処理を短時間で行うことができ、シームレス再生も可能な情報編集方法及び装置を提供することにある。

【0026】**【課題を解決するための手段】**

本発明は、上記目的を達成するため、情報記録媒体上のMPEG-2 トランスポートストリームデータをデータファイルの開始位置を示す情報及びデータサイズ情報を含むファイルシステム情報によって管理する方法において、前記記録媒体上の第1のデータファイルの後に第2のデータファイルを結合して新たに第3のデータファイルを作成する場合には、前記第1のデータファイルの実効的なA

Vデータパケット終端より前方の、セクタ境界とトランSPORTストリームパケット境界を共に満たす共通境界位置を算出し、前記第3のデータファイルを管理するファイルシステム情報のデータサイズ情報を、前記第1のデータファイルの開始位置から前記共通境界位置まで、及び第2のデータファイルの開始位置から終端位置までとすることを特徴とする。

【0027】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明の一実施形態を示すブロック図、図2は本実施形態のデータ結合処理を示すフローチャートである。また、図3～図5はデータ結合処理時の各処理を説明するための図である。なお、図2のステップ番号は図3～図5のステップ番号と対応している。

【0028】

まず、本実施形態では、図1に示すようにホストコンピュータ等の上位制御装置101にディスク記録再生装置102が接続され、ディスク記録再生装置102は上位制御装置101からの要求に応じてディスク記録媒体100にMPEG-2 TSトランSPORTストリームデータの記録或いはその記録データの再生を行う。ディスク記録媒体100としては、例えば、ハードディスクや光ディスク等が用いられる。

【0029】

また、ディスク記録再生装置102は上位制御装置101の要求に応じてファイルデータの結合処理等の編集処理を行う。ディスク記録再生装置内にはCPU(中央演算装置)103が設けられ、このCPU103は装置内の各部の制御を行い、上位制御装置101の要求に応じてディスク記録媒体100にデータの記録／再生、或いはファイルデータの結合処理等の編集処理の制御を行う。ディスク記録再生装置102の構成は周知であるので詳しい説明は省略する。

【0030】

なお、本発明は、この構成に限ることなく、ディスク記録再生装置だけでユーザの指示によってデータの記録／再生或いはデータの結合編集等の編集処理を行

う場合にも使用可能である。

【0031】

ここで、本実施形態では、図3に示すようにディスク記録媒体上に二つのMPEG-2 TSファイルFILE0001（アクセス開始セクタ番号N、データサイズ $188 \times n_1$ ）とFILE0002（アクセス開始セクタ番号K、データサイズ $188 \times n_2$ ）が記録されており、ファイルFILE0001の後にファイルFILE0002を結合して新規にデータファイルFILE0003を作成する処理要求が上位制御装置101から発行されたものとする（図2のS201）。

【0032】

この処理要求が発生すると、まず、ディスク記録再生装置102は図4（a）に示すようにFILE0001のデータ終端から前のセクタまでのオフセットLを次の式（5）を用いて算出する（S202）。1セクタのサイズは、例えば、2048バイトとする。

【0033】

$$L = (188 \times n_1) \bmod 2048 \quad \dots (5)$$

次に、図4（b）に示すようにFILE0001のデータ終端から先端に向かってTSパケット境界とセクタ境界とが合うまでの長さを次の式（6）を用いて算出する（S203）。

【0034】

$$(188 \times n_{\text{MATCH}} - L) \bmod 2048 = 0 \text{ となる } n_{\text{MATCH}} \quad \dots (6)$$

また、図5（a）に示すように得られた n_{MATCH} に基づいてファイルシステム情報内のFILE0001のデータサイズ部分を $(188 \times n_1 - 188 \times n_{\text{MATCH}})$ と修正して更新する（S204）。この場合、元のファイルFILE0001のファイルシステム情報は残しておく。

【0035】

次いで、結合後のファイルFILE0003のファイルシステム情報を作成する（S205）。具体的には、図5（b）に示すようにファイルFILE0003の開始セクタ番号を第一アクセス開始セクタ番号#N、データサイズ $(188 \times n_1 - 188 \times n_{\text{MATCH}})$ 、第二アクセス開始セクタ番号#K、データサイズ $(188 \times n_2)$

とする。

【0036】

この時、図5（b）に示すようにファイルFILE0001の終端（ $188 \times n_{MATCH}$ ）から前方に向かって（ $188 \times n_{MATCH}$ ）の位置は前述のようにTSパケット境界とセクタ境界とが一致する共通境界位置である。本実施形態では、このように結合後の新たなファイルFILE0003のファイルシステム情報を作成するだけでファイルデータの結合処理を終了する。

【0037】

ここで、ファイルFILE0003を再生する場合には、図5（b）に示すようにFILE0001の共通境界位置から後方にあるデータ（ $188 \times n_{MATCH}$ の部分）は再生されない。この部分はサイズが最大で2048と188の最小公倍数94Kバイトとなるが、ディジタルテレビ放送において適用されるMPEG-2 TSのデータ転送レートは一秒間に付き26Mビットと非常に高速であり、最大94Kバイト分はユーザにとって約0.00036秒と瞬時であるため、再生されなくとも視聴覚的に違和感を覚えることはない。

【0038】

次に、本発明の実施態様を以下に列挙する。

【0039】

（実施態様1） 情報記録媒体上のMPEG-2 トランSPORTストリームデータをデータファイルの開始位置を示す情報及びデータサイズ情報を含むファイルシステム情報によって管理する方法において、前記記録媒体上の第1のデータファイルの後に第2のデータファイルを結合して新たに第3のデータファイルを作成する場合には、前記第1のデータファイルの実効的なAVデータパケット終端より前方の、セクタ境界とトランSPORTストリームパケット境界を共に満たす共通境界位置を算出し、前記第3のデータファイルを管理するファイルシステム情報のデータサイズ情報を、前記第1のデータファイルの開始位置から前記共通境界位置まで、及び第2のデータファイルの開始位置から終端位置までとすることを特徴とする情報編集方法。

【0040】

(実施態様2) 情報記録媒体上のMPEG-2トランスポートストリームデータをデータファイルの開始位置を示す情報及びデータサイズ情報を含むファイルシステム情報によって管理する装置において、前記記録媒体上の第1のデータファイルの後に第2のデータファイルを結合して新たに第3のデータファイルを作成する場合、前記第1のデータファイルの実効的なAVデータパケット終端より前方の、セクタ境界とトランスポートストリームパケット境界を共に満たす共通境界位置を算出する手段と、前記第3のデータファイルを管理するファイルシステム情報のデータサイズ情報を、前記第1のデータファイルの開始位置から前記共通境界位置まで、及び第2のデータファイルの開始位置から終端位置までとする手段とを備えたことを特徴とする情報編集装置。

【0041】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、情報記録媒体上のデータファイルを結合編集する際に、編集処理に伴うディスクアクセスの必要が全くなくなり、ファイルシステム情報を作成するだけでファイル結合編集処理を行うことができるので、ファイル結合編集処理を飛躍的に高速化及び簡便化でき、また、シームレス再生を保証することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態を示すブロック図である。

【図2】

本発明の一実施形態のデータ結合処理を示すフローチャートである。

【図3】

図2の結合処理を説明するための図である。

【図4】

図2の結合処理を説明するための図である。

【図5】

図2の結合処理を説明するための図である。

【図6】

ディスク上記録媒体に記録されたMPEG-2 TSデータのデータ構造及びファイルシステム情報の例を示す図である。

【図7】

従来例のMPEG-2 TSデータの結合処理を示すフローチャートである。

【図8】

図7の結合処理を説明するための図である。

【図9】

図7の結合処理を説明するための図である。

【図10】

図7の結合処理を説明するための図である。

【図11】

図7の結合処理を説明するための図である。

【図12】

図7の結合処理を説明するための図である。

【図13】

図7の結合処理を説明するための図である。

【符号の説明】

100 ディスク記録媒体

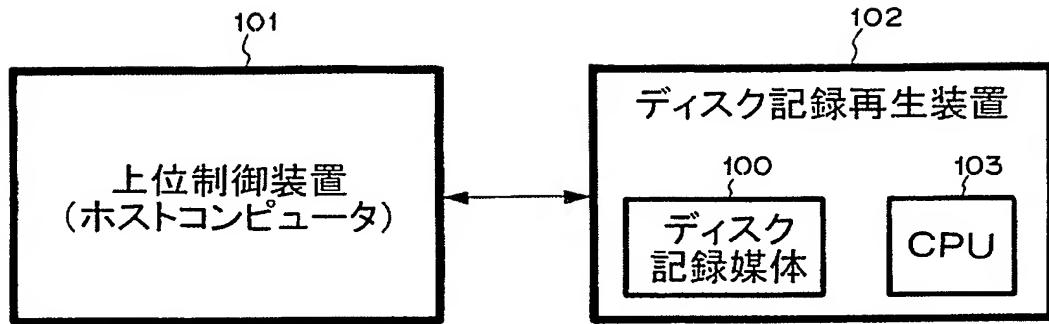
101 上位制御装置（ホストコンピュータ）

102 ディスク記録再生装置

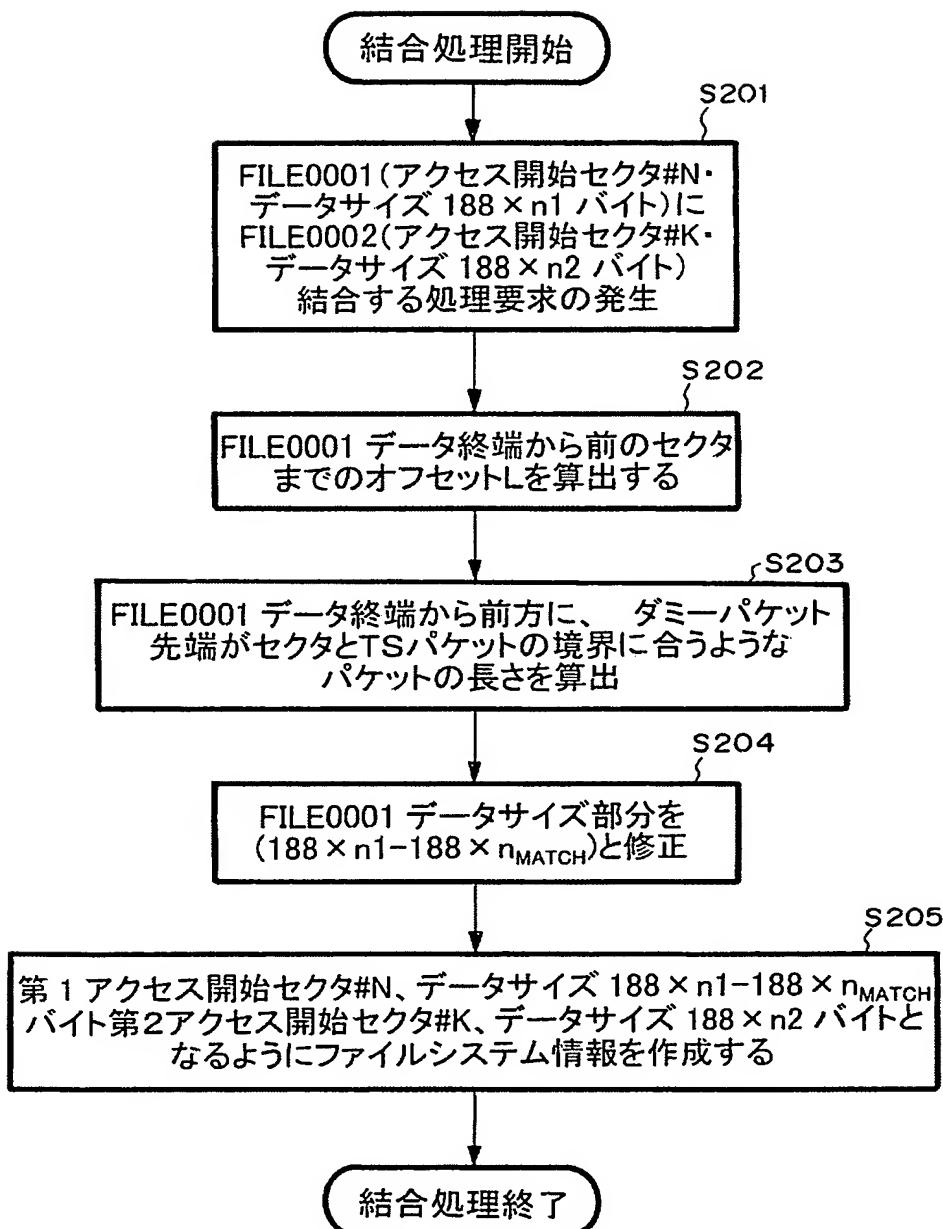
103 CPU

【書類名】 図面

【図1】

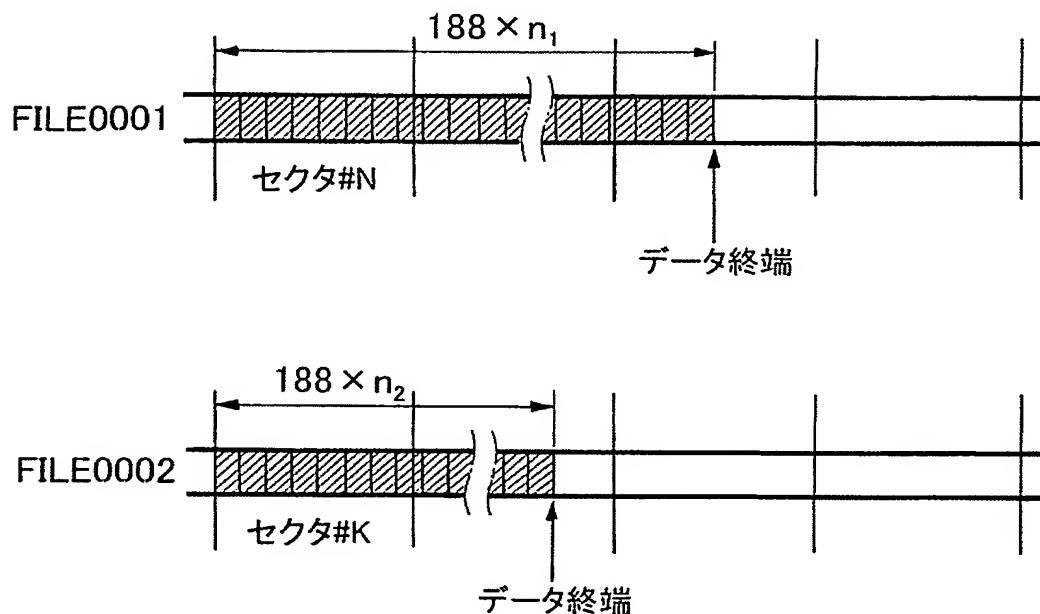


【図2】



【図3】

S201:結合処理要求の発生



ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0001	#N	$188 \times n_1$
FILE0002	#K	$188 \times n_2$

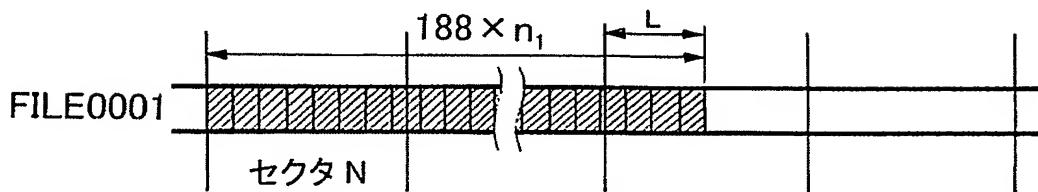
結合処理前のファイルシステム情報

【図 4】

S202: FILE0001 データ終端から前のセクタまでの
オフセットLを算出

(a)

$$L = (188 \times n_1) \bmod 2048$$



S203: FILE0001 データ終端から前方のパケット境界と
セクタ境界が一致する共通境界位置までの長さを算出

(b)

$$((188 \times n_{\text{MATCH}}) - L) \bmod 2048 = 0 \text{ となる } n_{\text{MATCH}}$$

【図5】

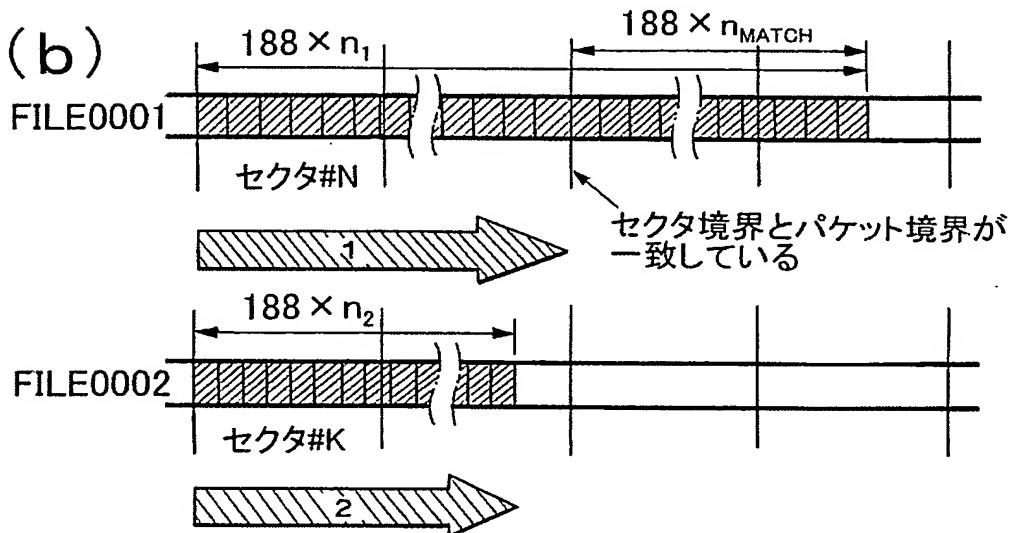
S204: ファイルシステム情報内 FILE0001 のデータサイズ部分を修正する

(a)

ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0001	#N	$188 \times n_1 - 188 \times n_{\text{MATCH}}$
FILE0002	#K	$188 \times n_2$

S205: 結合させるためファイルシステム情報を更新する

(b)

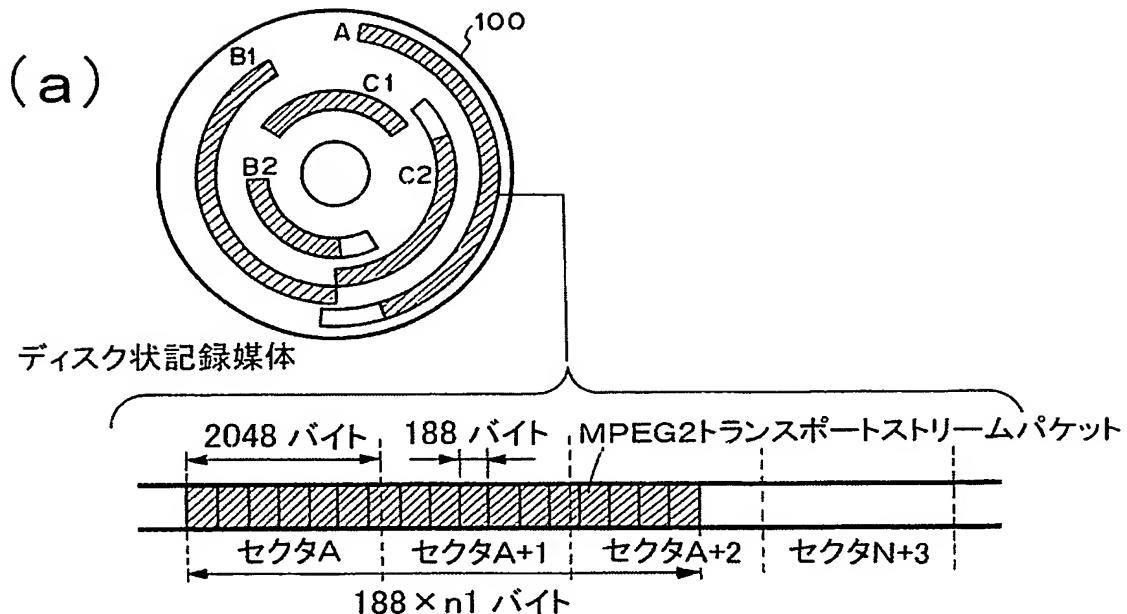


ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0003	第1アクセス開始セクタ番号#N	$188 \times n_1 - 188 \times n_{\text{MATCH}}$
(つづき)	第2アクセス開始セクタ番号#K	$188 \times n_2$

結合前 FILE0001 のデータ長は1セクタ長である2048
バイトで割りきれる

$$(188 \times n_1 - 188 \times n_{\text{MATCH}}) \bmod 2048 = 0$$

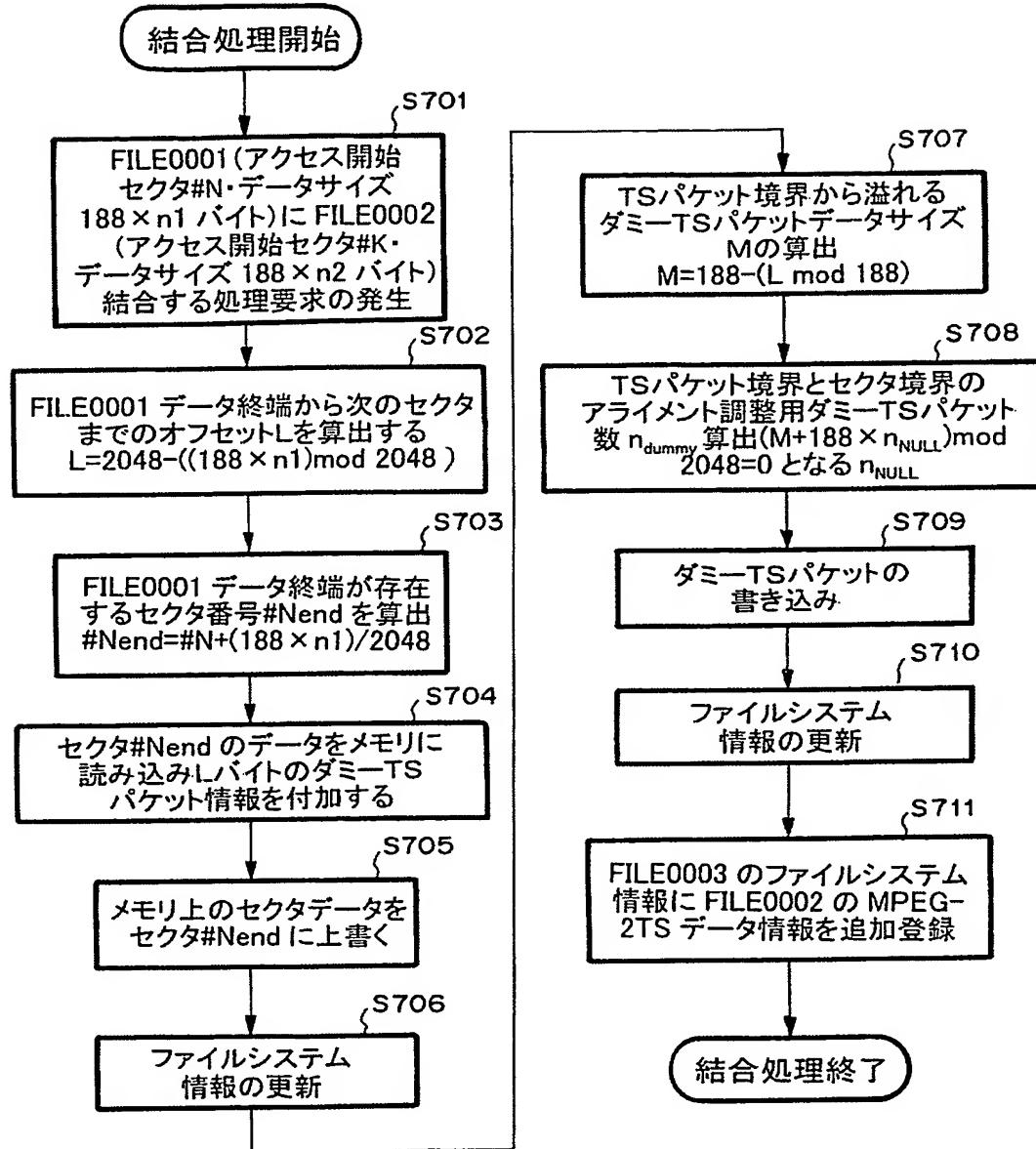
【図6】



(b)

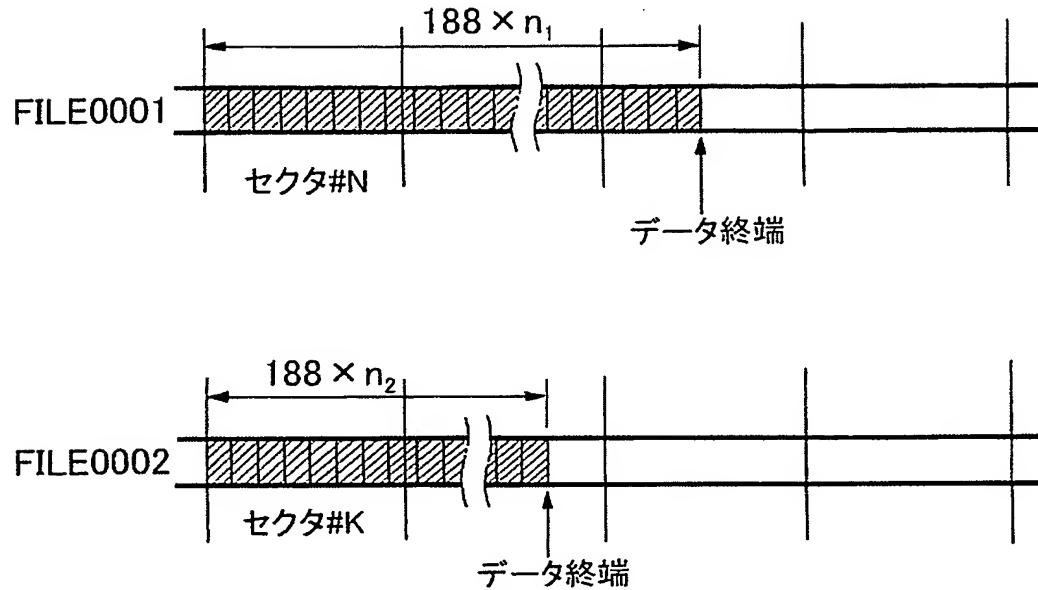
ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ	作成日時等
FILE A	A	$188 \times n_A$	yyyyymmdd
FILE B	B1	$(188 \times n_B - X)$	yyyyymmdd
	B2	X	...
FILE C	C1	$(188 \times n_C - Y)$	yyyyymmdd
	C2	Y	...
...

【図 7】



【図8】

S701:結合処理要求の発生



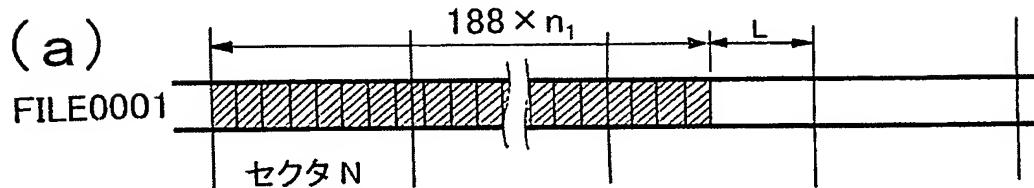
ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0001	#N	188 × n_1
FILE0002	#K	188 × n_2

結合処理前のファイルシステム情報

【図 9】

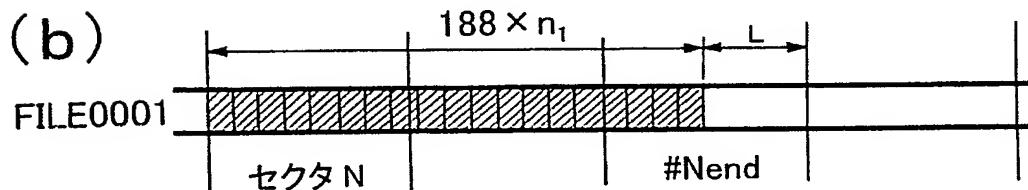
S702:FILE0001 データ終端から次のセクタまでの
オフセットLを算出

$$L=2048-((188 \times n_1) \bmod 2048)$$



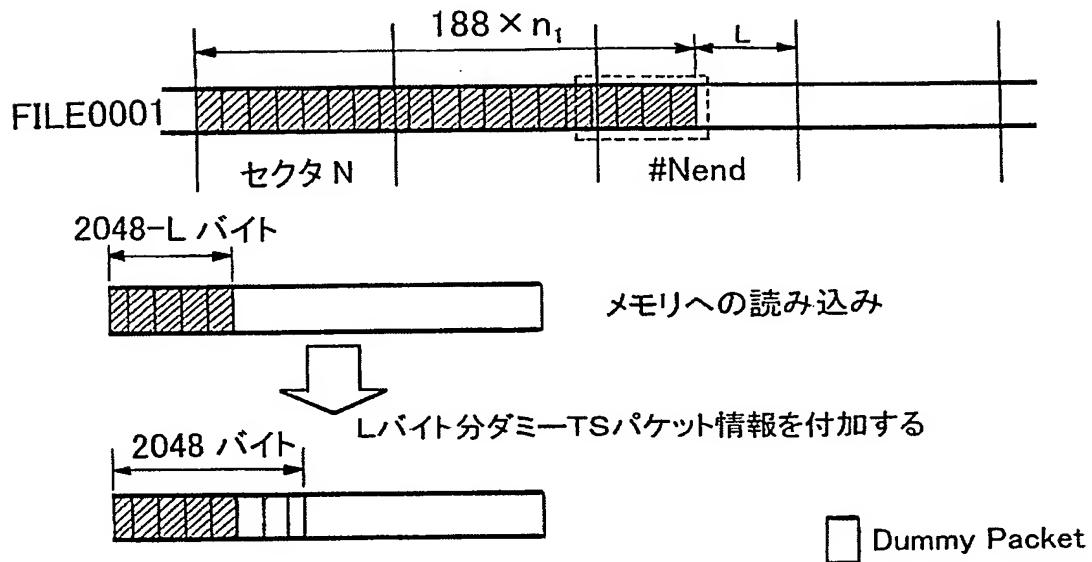
S703:FILE0001 データ終端が存在するセクタ番号#Nend を算出

$$\#Nend = \#N + (188 \times n_1) / 2048$$



【図10】

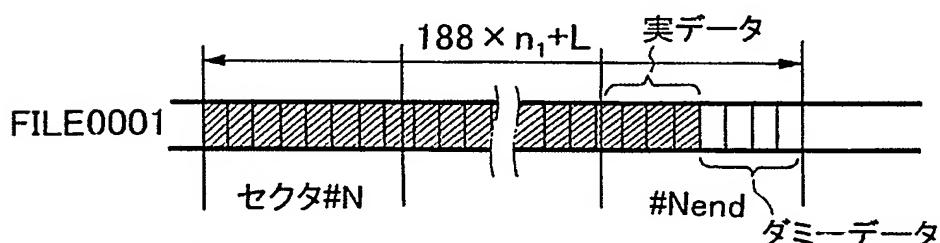
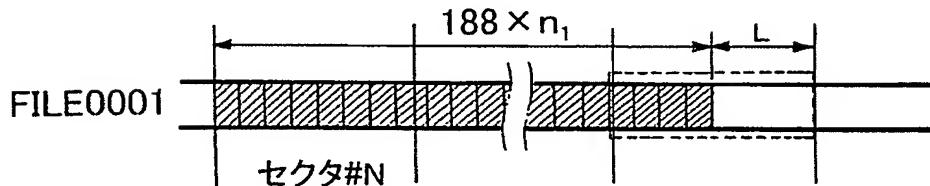
S704:セクタ#Nend のデータをメモリに読み込み



【図11】

S705: メモリ上のセクタデータをセクタ#Nend に上書き

(a)



S706: ファイルシステム情報の更新

(b)

ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0003	#N	188 * n ₁ + L

(c)

S707: TS/パケット境界からあふれるダミーTS/パケット
データサイズMの算出

$$M = 188 - (L \bmod 188)$$

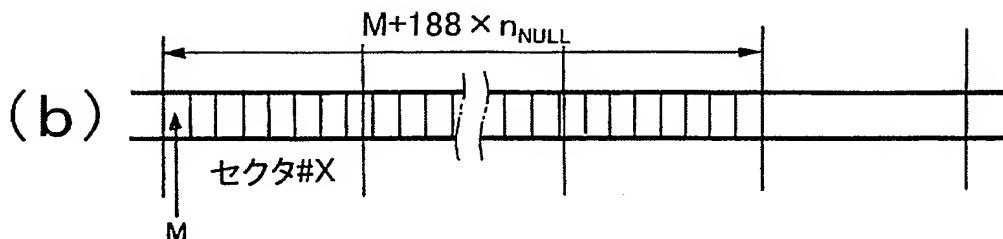
【図 12】

S708: TSパケット境界とセクタ境界のアライメント調整用
ダミー・パケット数 n_{NULL} の算出

(a)

$$(M + 188 \times n_{NULL}) \bmod 2048 = 0$$
 となる n_{NULL}

S709: ダミーTSパケットの書き込み



S710: ファイルシステム情報の更新

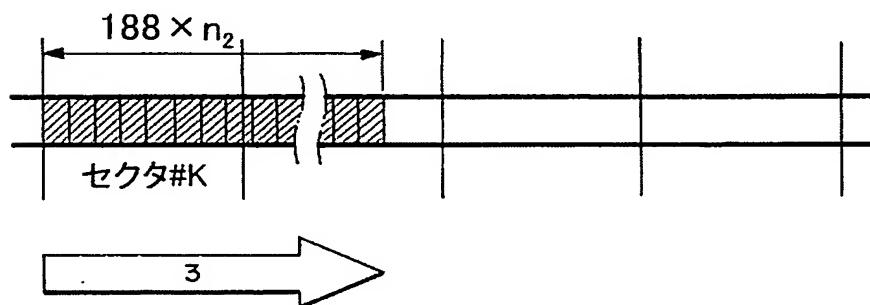
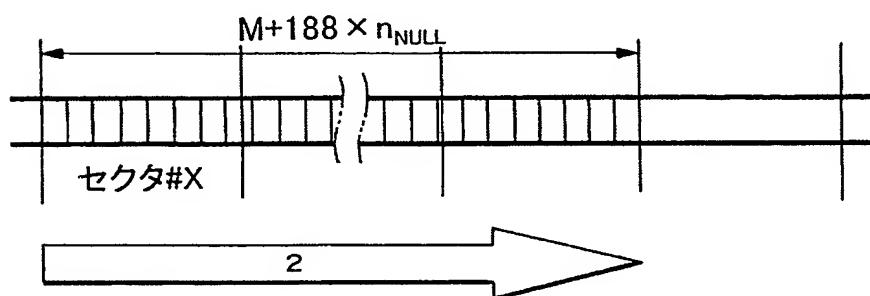
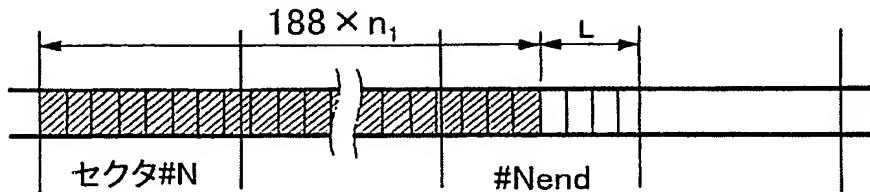
(c)

ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0003	#N	$188 \times n1 + L$
	#X	$188 \times n_{NULL} + M$

【図13】

S711:FILE0002 の MPEG データ追加

 Dummy Packet



ファイル名	開始セクタ番号	データサイズ
FILE0003	N	188 × $n_1 + L$
	X	188 × $n_{NULL} + M$
	K	188 × n_2

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ディスク記録媒体上のMPEGトランSPORTデータをユーザが編集する際に、セクタ境界とトランSPORTパケット境界のアライメント問題を解決し、結合編集を容易に行えるようにする。

【解決手段】 ディスク記録媒体上のファイルFILE0001の後にファイルFILE0002を結合して新たにファイルFILE0003を作成する際に、ファイルFILE0001の実効的なAVデータパケット終端より前方の、セクタ境界とトランSPORTストリームパケット境界を共に満たす共通境界位置を算出する。また、ファイルFILE0003を管理するファイルシステム情報を、ファイルFILE0001の開始位置から共通境界位置まで及びファイルFILE0002の開始位置から終端位置までとする。

【選択図】 図2

特願 2003-106578

出願人履歴情報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.